

2022年6月_中古車市場の動向

■オークション市場の動向

▪ 出品台数

◆6月のオークション出品台数は前年同月の9割程度にとどまり、11ヵ月連続のマイナス。

- ・昨年8月から11ヵ月連続で前年の出品台数を下回っている状況。長引く新車生産の低迷を受けディーラー各社の出品が激減している状況が続いており、各会場とも出品集荷に苦慮している。

▪ 落札台数

◆6月のAA落札は、前年同月の9割程度となり、6ヵ月連続のマイナス。

- ・各会場のタマ不足により成約率は再度上昇し、相場も高騰の傾向が続いており、1月から6ヵ月連続のマイナスとなった。入札件数は昨年10月以降、5月を除けば前年を多少とも上回っている。

▪ AA ワンプラ落札台数

◆6月のAAワンプラ落札は、前年同月の2.5割程度の減少となり10ヵ月連続のマイナス。

- ・昨年9月から10ヵ月連続でのマイナスであり、AAの出品台数の低迷と高成約率でAAワンプラへの出品登録台数も少なく、出品車両は質も良くなく割高で低調な状況が続いている。

■共有在庫市場の動向

▪ AS ワンプラ（共有在庫）出品台数

◆6月末現在の出品台数は、5月末に比べ7千台程度のマイナスとなった。

- ・5月連休明けから一気に減少傾向となり、タマ不足の影響は大きく6月中は大幅な減少傾向となった。7月に入っても減少傾向は止まらず、今後の出品台数の動向から目が離せない。

▪ AS ワンプラ（共有在庫）落札台数

◆6月のASワンプラ落札は、前年同月を僅かに上回り、3ヵ月連続でのプラスとなった。

- ・AAではタマ不足に加え成約率は再度上昇しており、相場も高騰の傾向が続き落札できない状況からASワンプラに流れている傾向も見取れる。今後も中古車流通市場や小売市場の動向に注視したい。